

輸出促進に向けて

水戸部委員 提出資料

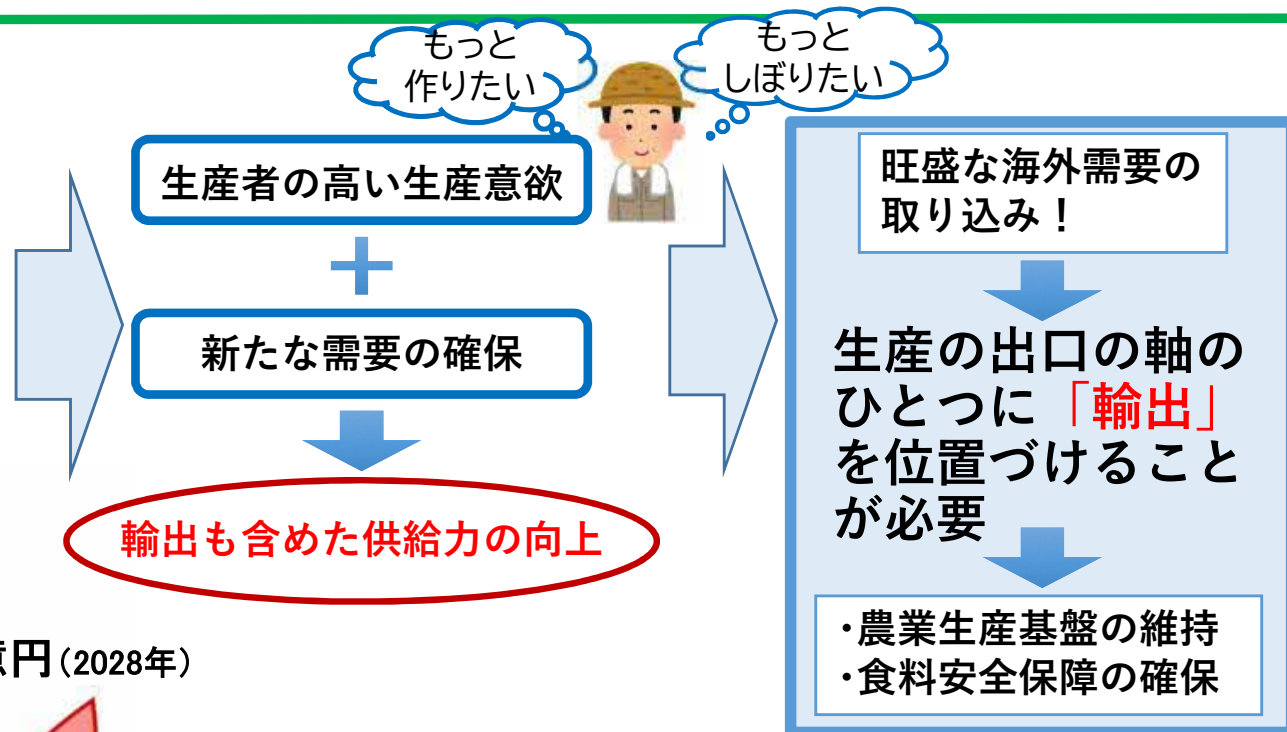
<現 状>

需要面

- 人口減少や高齢化による国内需要の減退
- 旺盛な海外需要

生産面

- 米、牛乳など主要な農産物は国内需要に応じた生産
- 国内需要に合わせて生産量(供給力)が減少していく可能性



北海道の農産物の輸出

250億円(2028年)

北海道食の輸出拡大戦略 第Ⅲ期(2024~2028)
米、牛乳乳製品、牛肉、青果物、日本酒を
主要品目として、輸出額250億円を目指す。

160億円(2023年)



☆さらなる輸出拡大に向けて…

国・地域・産地が一体となった取組の推進

生産振興対策と輸出拡大対策の連動

取組事例のご紹介

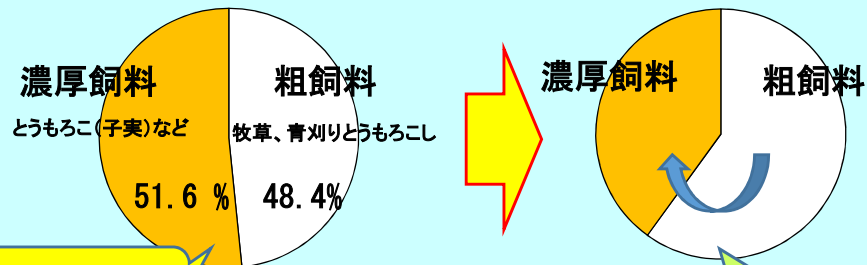


北海道産の品質の高いチルド牛乳を、特殊容器を用いてシンガポールまで大量輸送する実証試験を行い、輸送コストや品質、商品化に向けた課題等を検証中 (輸出物流構築緊急対策事業(R5補正))



国産飼料の生産・利用拡大に向けて

現状と課題



輸入飼料への依存度が高い

酪農経営における粗飼料と濃厚飼料の給与割合（R4全国）

外的要因に左右されない経営環境づくり



配合飼料工場渡価格の推移

国産飼料の増産



道外への移出拡大



我が国の食料自給率の向上や食料安全保障の確保に貢献

現在

北海道

60万haの農地で
2,000万トンの飼料を生産

- 計画的な草地整備改良
- 営農支援組織などの育成
- スマート農業の実装
- 植生改善の推進

さらなる増産

- 2番草、3番草の活用促進
- 耕種農家と畜産農家とのマッチングによる耕畜連携
- 物流体制の構築
- 酪農地帯での青刈りとうもろこしの生産拡大
- バンカーサイロでの飼料ロス低減や鳥獣害被害の防止
- 新品種の開発とその普及

地域の実情に応じた飼料生産から流通に至る総合的な取組が重要！